

松代温泉公共施設再編について (保健保養訓練センターの廃止と松代老人憩の家の移転について)



1 施設の概要

2

項 目	松代老人憩の家	保健保養訓練センター
目 的	高齢者の相互交流、教養の向上、レクリエーション、入浴等の場を提供し、心身の健康の保持増進を図る	健康の保持・増進を図るとともに、身体に軽度の障害がある者が、機能訓練を行うための施設
所 在 地	長野市松代町東条3595番地	長野市松代町東条3581番地1
開 設 日	昭和45年4月1日	昭和56年4月25日
構造・面積	鉄骨造(一部RC造)平屋建 床面積 460㎡ 敷地面積 1,818㎡	鉄筋コンクリート造 2階建 床面積 1階 643㎡ 2階 165㎡ 敷地面積 1,990㎡
利用料金	1回200円(利用券必要) 静養室半日600円から	(市 民)1泊 2,100円、日帰り 1,100円 (食事代)朝800円、昼700円、夕1,500円
事業内容等	施設:浴室、静養室、大広間ほか 対象者:市内在住の60歳以上の者	宿泊(定員16人)・休憩、食事 午前・午後各1時間程度の軽運動 レクリエーション行事
指定管理者 (H18年度～)	(一社)長野市開発公社 (源泉を所有)	(一社)長野市開発公社 (土地・源泉を所有)

2 公共施設再配置の検討

3

■保健保養訓練センターを取り巻く社会環境の変化と役割の希薄化

- ・施設の主目的である機能訓練は、H12年度に介護保険制度が創設されて以降、デイサービスやデイケアなどの介護保険サービスで実施され、他の制度に移行している。
- ・利用の現状は、高齢者向けの宿泊温泉施設としての利用となっている。
- ・利用者が減少し、一部の市民による繰り返し利用となっている。



■保健保養訓練センターの廃止

■松代老人憩の家の老朽化



■保健保養訓練センターを改修し、松代老人憩の家を移転

- ・保健保養訓練センターを転用することで既存施設の有効利用を図る
- ・公共施設の再編により、総量縮減が図られる
再編により除却減少する面積 460㎡(現・松代老人の家)

3 松代地区からの要望について

■市長要望(H28年7月6日)

松代地区の4団体(松代観光推進機構、松代地区住民自治協議会、長野商工会議所松代支部、松代地区区長会)の連名により、松代荘の大規模リニューアル等の市長要望がなされた。

また、隣接の松代老人憩の家と保健保養訓練センターの廃止を含めたエリア一体の総合的な見直しを行うよう提案があった。

■「松代荘リニューアルに関する住民意向調査」の結果(H29年2月15日)

○実施時期:H28.12~H29.1 ○回収率:49.9%(対象戸数7,002戸、回収戸数3,491戸)

【老人憩の家】…存続希望 39.3% 廃止し、松代荘の優待券制度創設を希望 42.0%

【保健保養訓練センター】…継続希望 59.6%

＜保健保養訓練センターの回答結果についての考察＞

・地元住民の利用は少なく施設の認知度が低い。障害者施設や保健センターと混同されている。

■松代温泉公共施設再編検討会議

隣接の松代荘、松代老人憩の家、保健保養訓練センターの温泉施設について、地域で議論を深め、施設の再編について検討するため、松代地区住民自治協議会等地元関係者、公共交通関係者、観光関係者等知見者等で検討会議を発足(H30年1月)し、3回の検討会議を実施

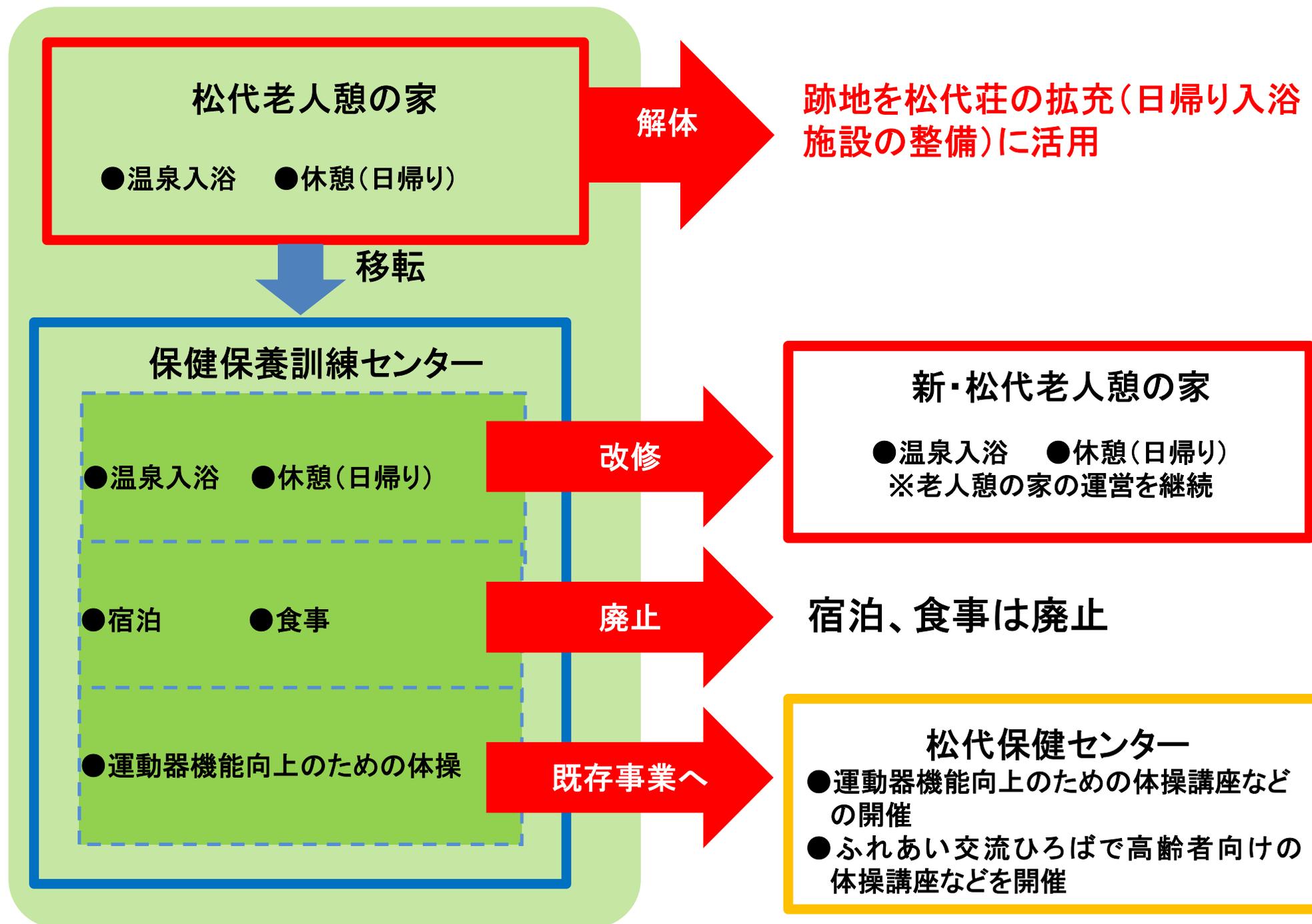
《検討会議から市長へ結果報告(H30年4月13日)》

確認1 「保健保養訓練センター」の廃止

確認2 「松代老人憩の家」の移転

廃止する保健保養訓練センターを後利用し、老人憩の家の運営を継続

4 公共施設再配置計画のイメージ



【1階間取り】

静養室1(改修なし)
カーテンレール撤去



はり・マッサージ室(改修なし)
施術室・待合室仕切り
施術室6.6㎡以上・待合室3.3㎡以上
施術室の1/7外気解放又は換気装置

静養室2(改修なし)
カーテンレール撤去



床カーペット
(廊下・部屋等)

大広間(改修)
畳部屋

浴室・脱衣室
(改修・内部)
浴槽階段撤去・拡張
浴槽手摺り付替え
カラン各1増
浴室・脱衣室模様替え
脱衣室ロッカー

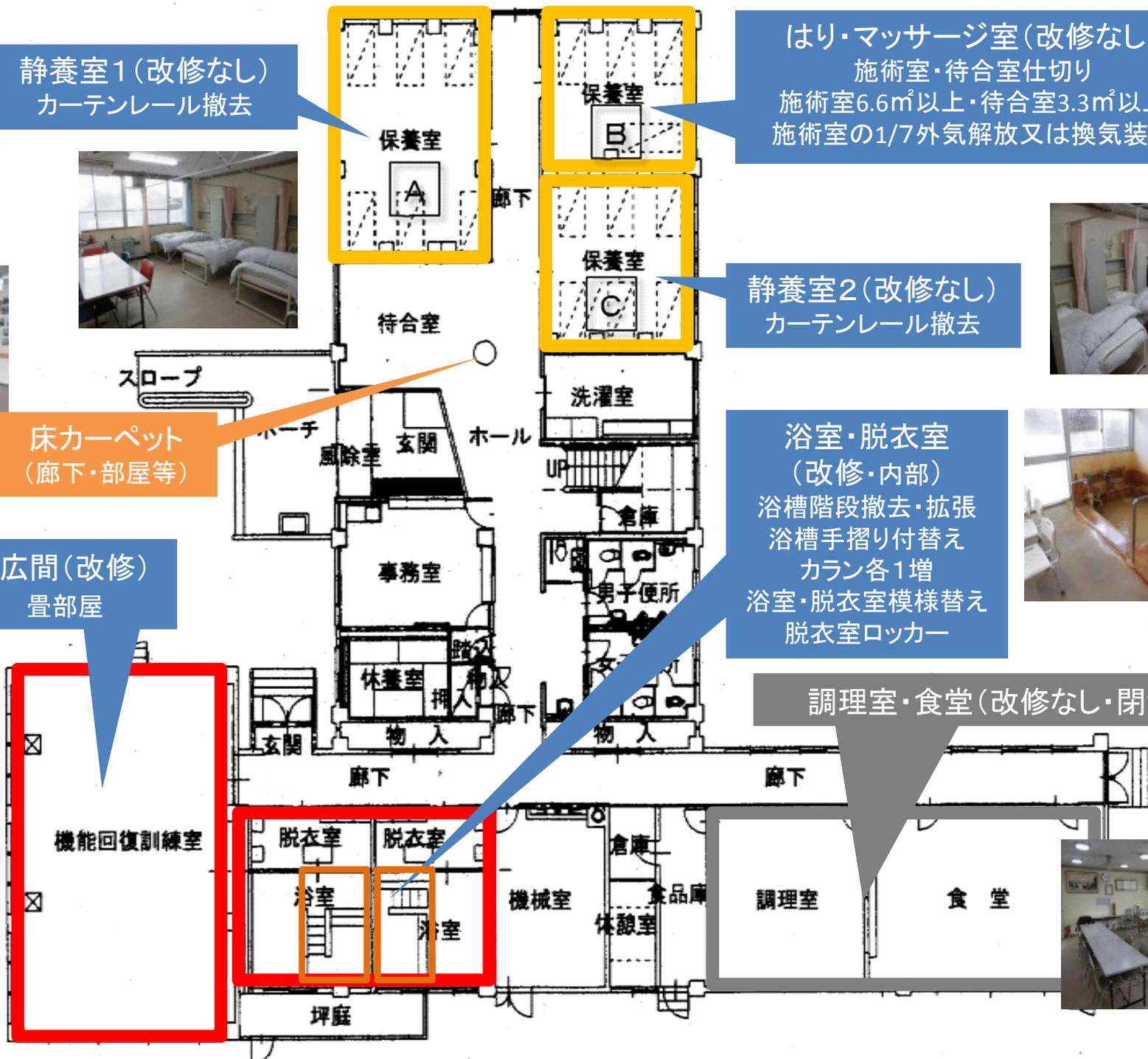
調理室・食堂(改修なし・閉鎖)

機能回復訓練室



脱衣室
浴室
浴室

調理室
食堂



6 スケジュール

